

1. 調査概要

1-1 調査目的

本調査では、成田空港への入港者のアクセス交通に関する実態を調査し、今後の空港アクセス交通の改善や将来の交通量予測における基礎資料を得ることを目的とする。

1-2 調査日時

本調査は、以下の日時で実施した。

- 入港車両カウント調査 : 2018年7月6日(金) 0:00~24:00
- 出発旅客アンケート調査 : 2018年7月6日(金) ~13日(金)

1-3 調査概要

図 1-3-1 に本調査の体系を示す。本調査は、①成田空港に入港する総車両台数を把握することを目的として各入港地点（ゲート）において実施した入港車両カウント調査と、②出発旅客の出発地点や利用交通機関に対する意見等を把握することを目的としてヒアリング方式で実施した出発旅客アンケート調査で構成される。

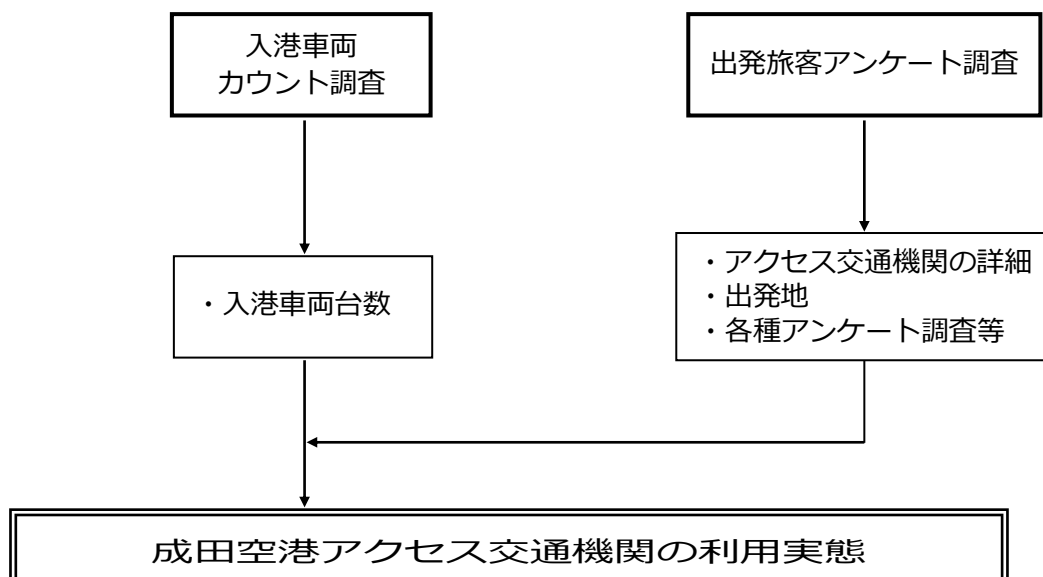


図 1-3-1 調査の体系

1-4 調査実施日の気象状況

表 1-4-1 は、調査実施日の気象状況を示したものである。

表 1-4-1 調査実施日の気象状況

調査実施日	気象状況				
	最高気温 (℃)	最低気温 (℃)	午前 8時の気温 (℃)	午前 8時の風速 ^{注1)} (kt)	天気 ^{注2)}
2016. 7. 8 (前回調査)	29.8	21.2	22.8	5	曇り
2016. 7. 9 (前回調査)	24.0	20.8	23.2	4	曇り
2016. 7. 10 (前回調査)	29.9	18.6	26.4	1	曇り
2016. 7. 11 (前回調査)	31.5	20.3	27.0	3	晴れ
2016. 7. 12 (前回調査)	28.7	22.7	24.4	8	晴れ
2016. 7. 13 (前回調査)	26.7	23.1	24.3	5	曇り
2016. 7. 14 (前回調査)	31.1	20.9	25.3	7	晴れ
2018. 7. 6	26.7	18.0	25.1	5	雨時々曇り
2018. 7. 7	30.8	18.9	26.3	9	曇り
2018. 7. 8	31.2	22.5	28.1	8	曇りのち晴れ
2018. 7. 9	30.4	23.7	25.3	13	曇りのち晴れ
2018. 7. 10	31.7	23.2	28.2	7	晴れ
2018. 7. 11	32.5	22.8	27.4	5	曇り
2018. 7. 12	29.1	23.3	26.3	3	曇りのち晴れ
2018. 7. 13	32.1	23.5	28.1	5	曇り

出所：気象庁 Web サイト（成田の気象データ）等

注 1) 風速は m/s をノット単位 (kt) に変換した。

注 2) 天気は「YAHOO! JAPAN 天気・災害」の Web サイトから引用した。

1-5 調査地点

各調査の調査地点を以下に示す（表 1-5-1、図 1-5-1）。

表 1-5-1 調査地点位置と実施調査

調査地点	位置	調査時間	入港車両 加付調査	出発旅客 アゲート調査
①第1ゲート	新空港自動車道入口	0:00～24:00	○	—
②第2ゲート	国道 295 号,新空港自動車道入口	0:00～24:00	○	—
③第3ゲート	近隣駐車場等入口	0:00～24:00	○	—
④第6ゲート	整備地区・N A A 第2ビル入口	0:00～24:00	○	—
⑤第7ゲート	空港給油ターミナル地区入口	0:00～24:00	○	—
⑥第8ゲート	第2給油センター脇入口	0:00～24:00	○	—
⑦南部貨物ゲート	南部貨物地区入口	7:00～23:00	○	—
⑧第1PTB 出発ロビー	出発ロビー	7:40～22:00	—	○
⑨第2PTB 出発ロビー	出発ロビー	7:40～22:00	—	○
⑩第3PTB 出発ロビー	出発ロビー	7:40～22:00	—	○

※アンケート調査は、調査日によって調査開始終了時間が異なる。

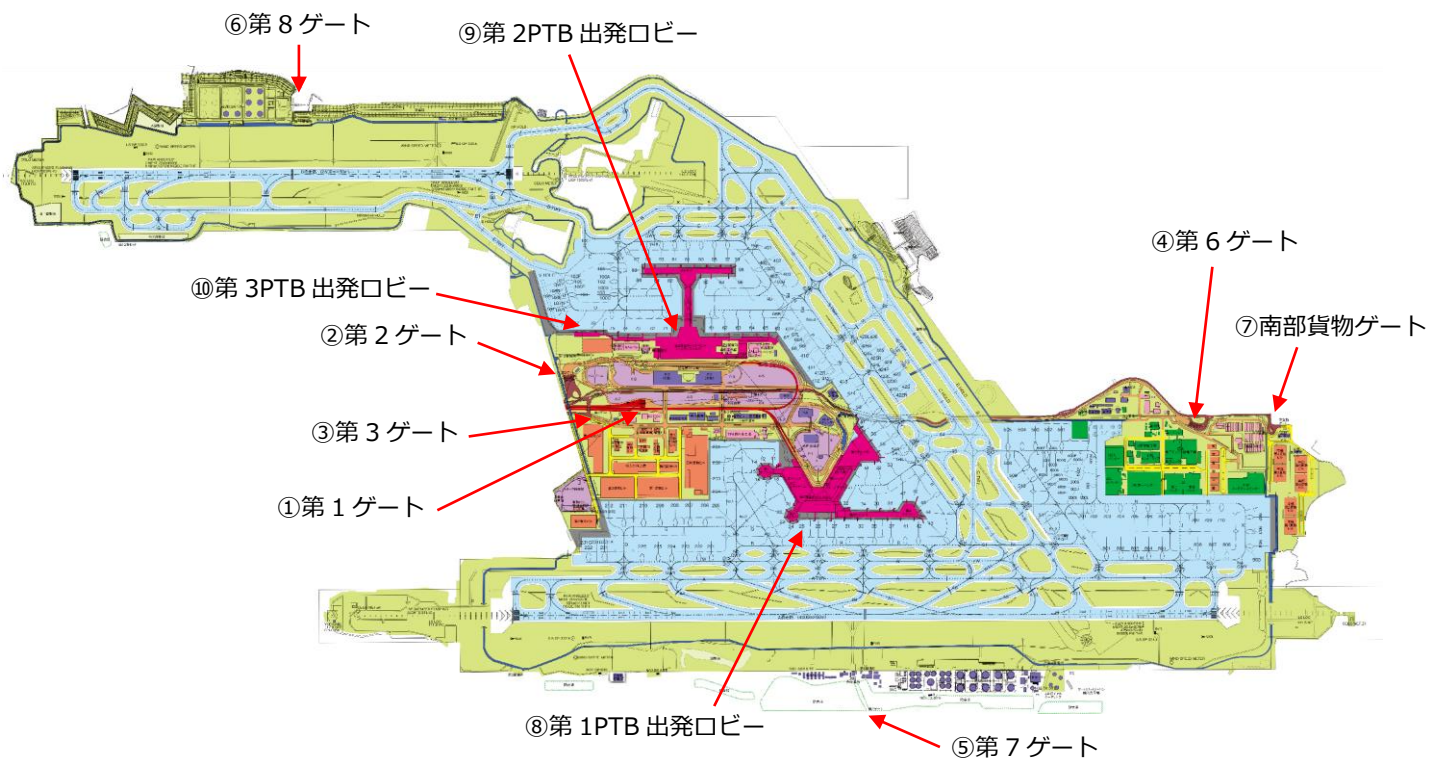


図 1-5-1 調査地点位置図

1-6 入港車両カウント調査の方法

(1) 調査内容と調査方法

入港車両カウント調査の対象・内容と調査方法を表 1-6-1 に整理する。

表 1-6-1 入港車両カウント調査の内容と方法

調査名	調査対象	調査内容	調査方法
入港車両 カウント調査	全入港車両	車種別・時間帯別 空港入港台数	全入港車両を車種別、時間帯別にカウ ント方式により調査する。

(2) 入港車両カウント調査の車種区分

入港車両カウント調査における車種区分はプレートナンバーによって識別し、その区分は表 1-6-2 の通り全 13 の車種区分に分類した。なお、前回調査の車種区分では、乗用車、大型バス、マイクロバスにおいてそれぞれ 1 区分としていたが、今回調査では、乗用車を 2 区分（自家用・その他、駐車場送迎）、大型バスを 2 区分（ホテル、その他）、マイクロバスを 3 区分（ホテル、駐車場送迎、その他）に区分している。

表 1-6-2 入港車両カウント調査車種区分

車種区分		区分条件
乗用車	①乗用車（自家用・その他）	ナンバー3, 5, 7（⑤以外の乗用車）
貨物車	②小型貨物車	ナンバー4, 6
	③普通貨物車	ナンバー0, 1, 8, 9
タクシー・ハイヤー	④タクシー・ハイヤー	ナンバー3, 5, 7
民間駐車場送迎車	⑤乗用車（駐車場送迎）	ナンバー3, 5, 7（近隣駐車場からの送迎車）
	⑥マイクロバス（駐車場送迎）	ナンバー2（近隣駐車場からの送迎車）
路線バス	⑦空港直行バス	ナンバー2（リムジンバスと地方からの空港直行バス）
	⑧地域路線バス	ナンバー2（近隣の路線バス）
貸切・団体バス	⑨大型バス（その他）	ナンバー2（貸切バス）
	⑩マイクロバス（その他）	ナンバー2（⑥⑫以外のマイクロバス）
ホテルバス	⑪大型バス（ホテル）	ナンバー2（近隣ホテルからの送迎車）
	⑫マイクロバス（ホテル）	ナンバー2（近隣ホテルからのマイクロ送迎バス）
二輪車	⑬二輪車	バイク・自転車

1-7 出発旅客アンケート調査の方法

(1) アンケート調査の方法

① 調査対象

調査日時に空港を利用する国際線旅客および国内線旅客を調査対象とした。

なお、国際線の旅行先については18方面（北米、ハワイ、中南米、韓国、中国、台湾、香港、タイ、マレーシア、シンガポール、フィリピン、インドネシア、その他東南アジア、西南アジア、中近東・アフリカ、オセアニア、グアム・サイパン、欧州）別とし、目標取得サンプル数は、以下に示す通りである（表1-7-1、表1-7-2）。

また、アンケート対象者は、国内線→国際線乗り継ぎ旅客および国際線→国内線乗り継ぎ旅客、国内線→国内線乗り継ぎ旅客、成田から出発する旅客であり、アンケート対象外は、国際線→国際線乗り継ぎ旅客および在日外国人、海外在住日本人、3か月以上の長期滞在者とした。

表1-7-1 出発旅客アンケート調査の国際線目標取得サンプル数（方面別）

方面	北米	ハワイ	中南米	韓国	中国	台湾	香港	タイ	マレーシア	シンガポール
日本人	270	430	280	410	330	370	320	240	240	250
外国人	240	60	140	630	730	670	700	240	200	210

方面	フィリピン	インドネシア	その他東南アジア	西南アジア	中近東・アフリカ	オセアニア	グアム・サイパン	ヨーロッパ	計
日本人	570	330	340	270	220	660	440	260	6,230
外国人	380	110	130	180	200	330	40	230	5,420

表1-7-2 出発旅客アンケート調査の国内線目標取得サンプル数

ターミナル	1PTB、2PTB	3PTB	計
日本人	475	478	953
外国人			

② 調査方法

出発ロビーで出発旅客に対して、調査員が聞き取りにより調査した。

なお、ヒアリング項目は、出発地、利用目的、利用アクセス交通手段・所要時間等である。

（質問項目の詳細は、巻末の参考資料3. アンケート調査票を参照）

(2) アクセス交通機関の定義

アンケート調査項目のアクセス交通機関の定義を表 1-7-3 に示す。

表 1-7-3 アクセス交通機関の定義

設問項目	アクセス交通機関	対象交通機関
1	成田エクスプレス	成田エクスプレス
2	J R 線	上記設問項目 1 以外の J R 線
3	京成スカイライナー	京成スカイライナー
4	成田スカイアクセス線	成田スカイアクセス線
5	京成本線	上記設問項目 3~4 以外の京成本線
6	空港直行バス (リムジン)	東京空港交通、京成バス、成田空港交通、千葉交通
7	L C C バス	東京シャトル、THE アクセス成田、成田シャトル、有楽町シャトル
8	貸し切りバス	団体・ツアー・観光バス
9	空港周辺ホテルの送迎バス	空港周辺ホテルの送迎バス
10	路線バス	地域路線バス
11	自家用車	自家用車
12	タクシー・ハイヤー等	タクシー・ハイヤー
13	自家用車 (その他)	社用車
14	レンタカー	レンタカー
15	飛行機	飛行機
16	その他	上記設問項目 1~15 以外の交通機関

1 - 8 報告書の見方について

報告書の百分比は、入港車両カウント調査の車両台数、出発旅客アンケート調査の回答者数を拡大した拡大値を 100%として算出し、本文および図表の数字は全て小数点第 2 位を四捨五入している。したがって、比率の合計が必ずしも 100.0%にならない場合がある。

また、アンケート調査の設問に対して無回答があったクロス集計による分析では、各拡大値の合計が全体の拡大値と一致していないことに留意されたい。

